

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	大阪発達支援センターぼぼろ		
○保護者評価実施期間	2024/11/29 ～ 2024年12月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの広さ (走り周ったり、ボール遊びも可能である)	さらに広くスペースを活用できるように、遊具や机などをプレイルームの端に寄せて設置している。また、静かに過ごせるスペース（別室）も設けて活用している。	引き続き、整理整頓や安全に過ごせるように心がけ、広いスペースを確保していきたい。 ・安全面に配慮し、蛍光灯からLEDへの取り替えをおこなった。
2	保護者との連携 (懇談会や保護者交流会の実施に力を入れている)	定期的に懇談会や保護者交流会の実施、また電話やLINEを通して、まめに保護者とのコミュニケーションをはかっている。	引き続き、懇談会などを実施し、保護者との連携をはかるように努めていきたい。
3	職員の専門性 (公認心理師 2名 言語聴覚士 1名 社会福祉士 1名を常勤で配置している)	積極的に研修などに参加し、全職員で共有している。	引き続き、スタッフ研修や法人内研修を開催し、実践力の向上に努めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動や実践の発信力 (不定期でInstagramのアップ、年4回の会報を発行している)	SNSやパンフレットの活用をすることへ意識が低い。	発信日（曜日など）の決定などを行い、定期的にSNSの発信や会報の発行をおこないたい。
2			
3			